

東京国立博物館 ニュース

2016 **10-11**

展示と催し物案内
第 739 号

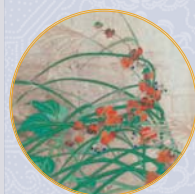
2-3 ㊦「博物館でアジアの旅」／4 ㊦特別展「平安の秘仏—滋賀・櫛野寺の大観音とみほとけたち」

5 ㊦特別展「禅—心をかたち—」／特別展「春日大社 千年の至宝」

6-11 ㊦総合文化展／11 ㊦保存と修理情報③／12-13 ㊦みどりのライオン 教育普及事業

13 ㊦トーハクくんのなるほトーハク／14-15 ㊦イベント&インフォメーション

16 ㊦2016年10月・11月の展示・催し物



東博&上博の名品で
中国を旅する
「博物館でアジアの旅」



東洋館 1 室 仏像でコラボ!

当館の充実した中国彫刻コレクションの中で残念なのは金銅仏が手薄なこと。このたび上海博物館より南北朝時代～唐時代の名品をお借りし、一層充実した展示となっています。

東博



によらいとうぶ
如来頭部 仏
中国 山西省雲崗石窟
北魏時代・6世紀

上博



によらいりょうぞう
如来立像 仏
中国 北魏時代・6世紀



浅見 研究員

長細い顔、アーモンド形の目、両端が上がる口の形などがよく似ています。インドから伝わった仏像が6世紀中頃にはこのような中国風の容姿に変わりました。

東洋館で
競演だほ!



トーハクくん

8月30日(火)
～
10月23日(日)

中国を代表する博物館のひとつ、上海博物館(上博)の名品がトーハクに! 東洋館でトーハクの名品と競演します。さらに「博物館でアジアの旅」を盛り上げるイベントも充実。パワーアップした東洋館にお越しください。

博物館でアジアの旅

夢のコラボ!

東洋館 5 室 陶磁でコラボ!

トーハクとシャンポーが誇るコレクションで中国陶磁発展の歴史をたどります。やきものの生産が各地でさかんになった唐時代の作品から、清時代の技巧を凝らした景德鎮窯の作品まで、広く紹介します。

東博



ゆうり こくからくさもんはち
袖裏黒唐草文鉢 仏
中国・景德鎮窯
明時代・14世紀
中路敏子氏寄贈

上博



せい か ぼ たんもんへい
青花牡丹文瓶 仏
中国・景德鎮窯
元時代・14世紀

東洋館 5 室 青銅器でコラボ!

青銅器は一見どれも同じに思えますが、他の作品と比較することでさまざまな違いに気づき、それぞれの個性がみえてきます。この展示室を彩るのは、そうした個性派揃いの青銅器です。

東博



りゅうもん き
龍文盃 仏
中国 西周時代・前10～前9世紀

上博



はく き
伯盃 仏
中国 西周時代・前10～前9世紀



市元 研究員

盃とは穀物を祖先や神に捧げる器のこと。トーハク作品は文様の簡素化が顕著で、シャンポー作品は胴部の大鳥が印象的。どちらも殷時代の伝統から脱却した、西周時代の新潮流をよく示しています。

中国陶磁の歴史は下絵付けという技法の登場によって大きく進歩しました。このたびシャンポーから下絵付けの象徴ともいべき元時代の青花の名品がやってきました。また、珍しい黒色の下絵付けの鉢はトーハクの代表作。ぜひ比べてお楽しみください。



三笠 研究員

関連イベント

9月27日(火)～10月10日(月・祝)はイベント集中期間!

※すべて当日受付。参加無料(ただし当日の入館料が必要)

スペシャルツアー 中国美術をめぐる旅 —添乗員はトーハク研究員

●9月27日(火) 14:00～15:00

「中国陶磁 1000 年をめぐる旅」三笠景子(東洋陶磁史)

●9月28日(水) 11:00～12:00

「アジアをリードした中国の染織技術」
小山弓弦葉(日本東洋染織史)

●9月29日(木) 11:00～12:00

「悠久の青銅器と神獣ウォッチング」
市元壘(東洋考古)

●10月4日(火) 14:00～15:00

「中国空想動物園」勝木言一郎(東洋美術史、東西文化交流史)

●10月5日(水) 11:00～12:00

「中国家具をめぐる旅」猪熊兼樹(工芸史)

●10月6日(木) 14:00～15:00

「幸せの形—吉祥エピソード—」富田淳(東洋書跡)

集合:東洋館 1 階エントランス

*展示室をめぐるツアーです。歩きやすい靴でご参加ください。

着てみてポーズ!

中国・韓国・日本の伝統衣装

各国の伝統衣装(子ども用、大人用ともに用意)を着て記念撮影。それぞれの国の美意識や生活文化の違いを体感できます。

イベント集中期間(9月27日(火)～10月10日(月・祝)) 中毎日 12:00～17:00

会場:東洋館 1 階エントランス

協力:ハクビ京都きもの学院



アジアンぬりえ

東洋館の展示作品をモチーフにしたぬりえをお楽しみください。作品はお持ち帰りいただけます。

9月29日(木)、10月1日(土)・2日(日)・6日(木) 11:00～16:00

会場:東洋館 2 室



アジアの伝統音楽・伝統芸術

●シタールの演奏

9月28日(水) 13:30～14:00、15:00～15:30

出演:サワン・ジョン

会場:東洋館 1 室

●古筝と馬頭琴の演奏

10月9日(日) 13:30～14:00、15:00～15:30

出演:ウーワン(古筝)、イラナ(馬頭琴)

会場:東洋館 1 室

●中国伝統芸術ショー(雑技)

10月10日(月・祝)

13:30～14:00、15:00～15:30

出演:中国太陽芸術団

演目:雑技「樽ぐり」、「双人アクロバット」、「椅子のバランス」、「水流星」等

*1、2 回目で公演内容を変更予定

会場:東洋館前 屋外ステージ

*雨天の場合は平成館大講堂、

定員 380 名(先着順)

●ボランティアによる東洋館関連ガイドツアー

東洋館のハイライト、彫刻、たてもののガイドなどを、「博物館でアジアの旅」のための特別バージョンで実施します。テーマと日時は本誌カレンダー(→16 ページ)をご覧ください。

●アジアン屋台

イベント集中期間(9月27日(火)～10月10日(月・祝))中はアジア料理を中心としたケータリングカーが東洋館前に登場!



ユリノキちゃん

当日参加OK
のイベントが
たくさん!

東洋館 8 室 絵画でコラボ!

絵画や染織は、単に室内空間を装飾するだけではなく、人々の幸せへの願いがさまざまな図柄に託されていました。理想郷から現世の幸福まで、幸せの形を読み解きます。



富田研究員

古風なスタイルを伝える「寿星図」に対し、「絳絲仙人図壁掛」では群れなす仙人の中心に、定型化した寿老人が威容を誇っています。頭が長〜くなり、鹿もやってきました。ちなみに、シャンポーの作品は絵画ではなく、実は織物なんですよ。

東博



○じゅせいず 寿星図 (部分) (部分)
中国 元時代・14 世紀

上博



○こくしせんじんず かべかけ 絳絲仙人図壁掛 (部分) (部分)
中国 明時代・16～17 世紀

東博 X 上博

東洋館 13 室 染織でコラボ!

シャンポーに行っても見られなかった染織作品がトーハクにやってきました! 花鳥画や人物山水画を織物や刺繍で表現した細密な「染織絵画」や華麗な清時代の宮廷服飾を展示します。



○こくし かちようず 絳絲花鳥図 (部分) (部分)
中国 清時代・18 世紀

東博

上博

○にしきじゅせいず 錦寿星図軸 (部分) (部分)
中国 清時代・18～19 世紀



小山研究員

ぱっと見、絵にしか見えないでしょう? どうぞ、展示室でじっくりご覧ください。卓越した中国の織物の技術は「絵画を織物や刺繍で表現するなんて、本当にできるの?」を可能にしました!

必見！ 展覧会限定のアンクル

本尊の十一面観音菩薩坐像は、ぐりと360°、さまざまな角度からご覧ください。秘仏のため、お寺では巨大な厨子の中に安置されており、通常であれば像の側面や背面を見ることはできません。また、頭上にめぐらされた11の顔のうち、真後ろの怒った顔（大笑面）も普段はまったく見えませんが、像の制作当初から残っているものです。迫力ある表現が光背との隙間からちらりと見えます。

本尊が寺外で公開されるのは本展が初！ 360°ご覧いただけるのも初めてという貴重な機会です。

大観音の旅に密着！

像高3mを超える本尊はどうやってトーハクに運び込まれたか？「トーハクくんのなるほトーハク」で輸送の秘密を紹介しています（→本誌13ページ）。



◎十一面観音菩薩坐像

平安時代・10世紀



（大笑面）

そっくりさんが大集合



◎観音菩薩立像

平安時代・10～11世紀

◎十一面観音菩薩立像

平安時代・10～11世紀

櫛野寺に伝わる仏像のなかには、よく似た複数の像があります。たとえば、写真の観音菩薩立像と十一面観音菩薩立像は、吊り目で顔が小さく、すらりとした細身で長身のプロポーションが印象的です。吊り目で長身の像を探してみると他にも見つかるので、会場でぜひ比べてご覧ください。

作者も時代も異なるにもかかわらず、似かよっている櫛野寺の仏像群は、かつてこの地に工房があったことを物語っているように思われます。櫛野寺のある甲賀は「忍者の里」として知られますが、「仏の里」でもあったのです。

平安の秘仏

らくやじ The Hidden Buddha of Rakuyaji Temple, Shiga
滋賀 櫛野寺の大観音とみほとけたち

本館特別5室

9月13日(火)～12月11日(日)

重要文化財に指定された坐像の十一面観音菩薩で日本最大という本尊をはじめ、櫛野寺に伝わる重要文化財の仏像20体すべてがそろそろ、本展覧会。そのおもしろさを、展覧会の担当研究員が独自の視点で解説します。

キリリ。横顔こそがカッコイイ

毘沙門天立像は、堂々とした迫力ある体格ですが、甲や衣は細かなところまで表現され、そこに付く花形や花卉形の飾りには華やかさもあります。この像の魅力は何といっても表情です。目を見開き、口をへ字に歪めて怖い顔のようですが、額や頬に刻まれた皺のため人間味があり、横から見た表情には凛々しさを感じます。横から見ると顔と兜のつながりがずれているのは、この像ならではの愛嬌でしょう。腹部のゆかいな顔にも注目してください。



▲（上半身部分）

▼（腹部）



◎毘沙門天立像

平安時代・10～11世紀

なたぼり「鉈彫」の像が謎を解明?!

右の観音菩薩立像は、全身に荒々しい鑿跡（のみ）が残し、一見すると未完成のようですが、顔は滑らかに仕上げられているので、意図的な表現だとわかります。このような「鉈彫」と呼ばれる表現の作品は、11～12世紀の関東から東北にかけて多く知られていますが、実は関西にも例が残っています。むしろ、西日本にこそ早い時期の鉈彫の像が多く、この像も、鉈彫という特異な表現が生まれた謎を解くカギを握っているのかもしれない。



◎観音菩薩立像

平安時代・11～12世紀



作品はすべて滋賀・櫛野寺蔵

開催概要 | 主催：東京国立博物館、櫛野寺、読売新聞社 / 後援：TBSラジオ / 協賛：日本写真印刷 / 協力：日本通運 / 観覧料：一般1,000円(900円)、大学生700円(600円)、高校生400円(300円) * ()内は20名以上の団体料金。中学生以下無料 * 障がい者とその介護者1名は無料(入館の際に障がい者手帳などをご提示ください) / お問合せ：ハローダイヤル 03-5777-8600 / 展覧会公式サイト：<http://hibutsu2016.com/>

本館
11室

坐像の十一面観音を展示中

本館11室では、10月23日(日)まで阿弥陀・観音を特集しています。左の十一面観音菩薩坐像(白山神の本来の姿(本地仏)としてつくられました。坐像の十一面観音は珍しいのですが、神像にならったのか、本地仏としてつくられた像には、坐像もみられます。



◎十一面観音菩薩坐像

鎌倉時代・13世紀 千葉・小松寺蔵
～10月23日(日) / 本館11室

だるま 禅宗の初祖、達磨の名作が勢ぞろいします！



(部分)



(部分)



(部分)

禅宗導入期の代表作

だるま ●達磨図

蘭溪道隆賛 鎌倉時代・13世紀
山梨・向嶽寺蔵
展示期間 10月18日(火)～10月30日(日)

日本最大級！の迫力

だるま が ま て つか い ず ●達磨・蝦蟇・鉄拐図

吉山明兆筆 室町時代・15世紀
京都・東福寺蔵
展示期間 11月8日(火)～11月27日(日)

雪舟人物画の最高傑作

え か だ ん び ず ●慧可断臂図

雪舟等楊筆 室町時代・明応5年(1496)
愛知・齊年寺蔵
展示期間 11月8日(火)～11月27日(日)

達磨はインドから中国に渡来し、禅を伝えた人物で、数多くの画像が作られました。向嶽寺の達磨図は、中国絵画の新様式を取り入れた禅宗導入期＝13世紀の名作です。明兆の達磨図(15世紀前半)は通例の達磨図の2倍を超える大きさとダイナミックな筆致で見る者を圧倒します。達磨が中国で

後継者を得た歴史的瞬間を描く雪舟の慧可断臂図は、雪舟の国宝絵画6件のうち唯一の人物画です。そのほか近世禅画を代表する白隠による達磨の傑作3件や新出の慧可断臂図(大分・見星寺蔵、展示期間11月8日～11月27日)も展示。歴代達磨図の名作がそろいます。(救仁郷秀明)



平成館 特別展示室

10月18日(火)

～

11月27日(日)

開催概要 | 主催：東京国立博物館、臨済宗黄檗宗連合各派協議所、日本経済新聞社、BSジャパン／協賛：損保ジャパン日本興亜、東レ、トヨタ自動車、日本写真印刷、日本ロレックス／協力：大光電機、三菱レイヨン／観覧料：一般1,600円(1,400円/1,300円)、大学生1,200円(1,000円/900円)、高校生900円(700円/600円)＊()内は前売/20名以上の団体料金。中学生以下無料 ＊障がい者とその介護者1名は無料(入館の際に障がい者手帳などをご提示ください) ＊前売券は8月29日(月)～10月17日(月)、東京国立博物館正門チケット売場(窓口、開館日のみ)、展覧会公式サイトほか、主要プレイガイドにて販売／お問合せ：ハローダイヤル 03-5777-8600／展覧会公式サイト：http://zen.exhn.jp/

関連イベント

※全て参加無料(ただし本展覧会の観覧券が必要。使用済の半券でも可、その場合は別途入館料が必要)
※特記以外は当日受付(事前申込み不要)

尺八コンサート「吹簫のひびき」

日時：11月5日(土)
13:30～15:00(13:00開場予定)
出演：筑前博多 一朝軒
会場：平成館大講堂
定員：380名(先着順)

「禅寺の四ツ頭茶礼」 事前申込制

日時：11月12日(土)
13:30～15:00(13:00開場予定)
講師：臨済宗大本山建長寺禅文化委員会、三笠景子(当館東洋室主任研究員)
会場：平成館大講堂
定員：380名(事前申込制、応募者多数の場合は抽選)
申込方法：往復はがきの「往信用裏面」に、郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号を、「返信用表面」に郵便番号・住所・氏名を

明記のうえ、下記までお申し込みください。
＊1枚のはがきで最大2名の申込可。2名の場合は、それぞれの氏名を必ず明記してください。
申込先：〒113-8730 日本郵便本郷支店私書箱16号「禅一心をかたち」 禅寺の四ツ頭茶礼係
申込締切：10月4日(火) 必着

禅トーク

日時：10月19日(水)、11月9日(水)・24日(木)
11:00、14:00

10月28日(金) 11:00、14:00、18:30
11月5日(土) 11:00、18:30
＊各回とも約20分

会場：平成館ラウンジ

写禅語

日時：10月19日(水)・28日(金)、11月5日(土)・9日(水)・24日(木) 12:00、15:00
11月3日(木・祝) 11:00、18:30
＊開始時間より60分間、随時参加可
会場：平成館ガイダンスルーム



獅子・狛犬 鎌倉時代・13世紀 奈良・春日大社蔵

開催概要 | 主催：東京国立博物館、春日大社、NHK、NHKプロモーション、読売新聞社／協賛：岡村印刷工業／観覧料：一般1,600円(1,400円/1,300円)、大学生1,200円(1,000円/900円)、高校生900円(700円/600円) ＊()内は前売/20名以上の団体料金。中学生以下無料 ＊障がい者とその介護者1名は無料(入館の際に障がい者手帳などをご提示ください) ＊前売券は10月1日(土)～2017年1月16日(月)、東京国立博物館正門チケット売場(窓口、開館日のみ)、展覧会公式サイトほか、主要プレイガイドにて販売／お問合せ：ハローダイヤル 03-5777-8600／展覧会公式サイト：http://kasuga2017.jp/

特別展

春日大社 千年の至宝

平成館
特別展示室

2017年1月17日(火)～3月12日(日)

奈良公園内に位置する春日大社は奈良時代に創建され、今日に至るまで多くの人々の祈りが捧げられてきました。
この展覧会では、「平安の正倉院」と呼ばれる春日大社に伝来し、社外ではめったに拝観することの出来ない貴重な古神宝の数々をご紹介します。あわせて、祈りや願いを込め奉納された国宝の甲冑・刀剣や、春日の神々への祈りを表した選りすぐりの名品を展覧します。
春日大社の「至宝」が一堂に会する空前の規模の展覧会です。(土屋貴裕)

注目の特集



3センチ四方の世界にかけた生涯

注目 特集 生誕百年記念

「小林斗盦 篆刻の軌跡」

印の世界と

中国書画コレクション

11月1日(火)〜12月23日(金・祝)

東洋館 8室

川越に生まれた小林斗盦(1916〜2007)は、10代で書と篆刻を比田井

天来・石井雙石に学び、20代には西川

寧・河井荃廬に師事して、日本人の感

性に本格的な中国の技法を盛り込みま

した。34歳の若さで日展の特選を受賞

してからは、常に書壇の重鎮として篆刻

界を牽引し続けた。一方、30代で文

字学と印学を学び、中国の古印の研究

に没頭、多くの論考や著作を発表しま

した。深い学識に裏付けられた小林斗

盦の精緻で理知的な篆刻は、中国から

も高く評価され、88歳の時には篆刻家

として初めて文化勲章を受章しました。

平成28年(2016)は、小林斗盦

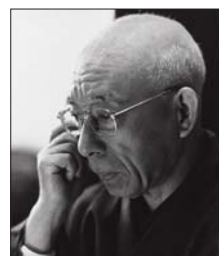
の生誕100年にあたります。本展は

小林斗盦の篆刻・書画や、旧蔵の中国

の書画などを展示し、91歳の天寿を全うした小林斗盦の偉大な業績を回顧します。

*会期中にワークショップを行います。詳細は本誌12ページをご覧ください。

(六人部克典)



小林斗盦の肖像。穏やかながら常に高い志を持ち続け、孤高の世界を築きました

主催：東京国立博物館、読売新聞社
企画協力：謙慎書道会



右：「柔遠能邇」白文内印、左：同印の側面

小林斗盦刻 昭和58年(1983) 原印：東京・日本芸術院蔵
印影：個人蔵 この作で恩賜賞・日本芸術院賞を受賞しました

菊老少年図 絹軸

趙之謙筆 清時代・同治8年(1869) 個人蔵
展示期間：11月29日(火)〜12月23日(金・祝)
小林斗盦が印の作風をならった趙之謙の絵画



「荷風散人」朱文印

小林斗盦刻 昭和24年(1949)
印影：個人蔵
展示期間：11月1日(火)〜11月27日(日)
戦災で文房具一切を失った永井荷風のお気に入りの印だったようです



注目 特集

その一枚に込められた秘密を探る

「和紙の魅力」

技術記録と

料紙の変遷

11月6日(日)

平成館 企画展示室



(部分)
造東大寺司解 奈良時代・天平宝字元年(757)
造東大寺司の報告書。再利用を前提に、表面を叩いて平滑にする打紙をした料紙を用いています

2014年に3件の「和紙」がユネスコ無形文化遺産に登録されました。その登録は、昭和38年(1963)以降に行われた国の実態調査で作成した技術記録がもとになっています。展示では、登録された3件のうち、島根の「石州半紙」、岐阜の「本美濃紙」に加え、人間国宝の8代岩野市兵衛の「越前奉書」や安部紫郎の「雁皮紙」などについて、和紙の実物、原料、紙漉きの道具などの技術記録をとりあげます。さらに各時代の特徴を示す代表的な作品によって、和紙の特徴である強さやしなやかさ、白さの秘密を解明し、世界に誇る技術とその魅力を紹介します。

(高橋裕次)

注目 特集

描かれてきた伝説の歌人

「歌仙絵」

10月18日(火)〜11月27日(日)

本館 特別1室・特別2室

歌仙絵とは優れた歌人の肖像を描いたやまと絵作品です。いにしえの歌人の肖像を描く営みは平安時代にさかのぼり、鎌倉時代には「似絵」と呼ばれる新たな肖像表現の形式を取り込みながら、和歌を詠む人々の間で広く制作・享受されるようになりました。

この特集では、宮廷文化の根幹たる和歌に支えられた、歌仙絵の成立と展開をたどります。歌仙絵の白眉たる佐竹本をはじめとする、豊穣かつ個性豊かな歌仙絵の世界をお楽しみください。あわせて、同時期の本館3室では和歌に関わる古筆や絵画も展示します。こちらもお見逃しなく。

(土屋貴裕)



◎佐竹本三十六歌仙絵 小野小町

鎌倉時代・13世紀 個人蔵
絶世の美女、小野小町を後姿で描く、佐竹本でも最も詩情にあふれた一幅

本館 日本に会う

本館 3室 仏教の美術

「禅」展関連作品をチェック

釈迦三尊像

10月30日(日)

禅宗寺院で用いられた仏画・仏像は、その姿形や表現の様式など中国風の強いものが多く用いられました。従来からあった主題でも宋代以降の造形を取り入れた新しい形式が広がるようになります。今回の仏教の美術のコーナーでは、そうした中国風の強い図像をもった作例なども交えて展示します。例えば釈迦三尊像は、特別展「禅」心をかたち「(本誌5ページ)」でも個性的な作例が出品されていますが、本館3室では伝統的な要素も残しつつ、うずくまった象や獅子に寛いだ姿勢でまたがる普賢・文殊の両菩薩の姿など、新しい要素も取り入れた南北朝期の作例を展示します。ぜひ、両会場の作品を見比べてみてください。(沖松健次郎)



釈迦三尊像

南北朝時代・14世紀

同じ主題ながら、特別展出品作品と表現の違いにご注目ください

本館 8室 書画の展開

裏面は光琳の「風神雷神図」 両A面の名品、3年ぶりの登場!

重文 夏秋草図屏風

10月30日(日)

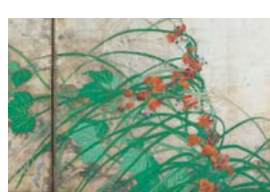


夏秋草図屏風 酒井抱一筆

江戸時代・文政4年(1821)頃
神がかった季節表現、江戸琳派の代表作です

※裏面はご覧いただけません。

(部分)



突然の夕立にうな垂れる夏草、地面に溜まって流れる雨水。強風に吹きさらす秋草、放たれ宙を舞う鳶の葉。夏と秋、自然の一角で季節を対比させたあの傑作が、3年ぶりに当館に登場です! 葉の緑、流水の群青は極上の絵具で抜群の発色、渋い銀箔の地に映えています。寒色が支配的な画面上、夏草では昼顔の桃色と簾越しのような百合の白、秋草では鳶紅葉の橙色と葛の花の紅白色がアクセントに。秋に向かう季節、江戸琳派の中核であった作者の洗練された鋭い造形を間近にどうぞ。(山下善也)

本館 12室 漆工

秋の情景に光る、高い蒔絵技術

重文 男山蒔絵硯箱

10月4日(火)〜12月23日(金・祝)



男山蒔絵硯箱

室町時代・15世紀

様々な技法を駆使した複雑な表現は、室町時代の蒔絵の特徴です

図柄の中には歌文字が隠されていて、「なほ照らせ代々にかはらず男山 仰ぐ峰より出る月影」という「続後撰和歌集」の和歌を表しています。蒔絵硯箱は硯や水滴、筆などの筆記具を収納する箱であり、古典文学と関連した意匠が多く見られます。これはその代表的な名品で、山の端にのぼる月、険しい坂道や女郎花など、和歌によく詠まれる男山の風物を描いているのです。女郎花のほか菊や桔梗などの秋草が咲き乱れ、冴えわたる月が銀板で表わされるなど、寂寞とした秋の情景が表現されています。(竹内奈美子)

本館 14室

トーハクにもあります! 欧米の工芸品コレクション

特集「ドレッサーの贈り物」 明治にやってきた欧米のやきものとガラス

9月27日(火)〜12月18日(日)



白色ガラス
蛙蜻蛉刻文瓶

イギリス 19世紀

ドレッサーが運んだイギリス製ガラス器。「北斎漫画」に拠る独特の文様が目をひきます

この特集は、当館が所蔵する19世紀のヨーロッパやアメリカの貴重なやきものやガラスのうつわを紹介するものです。中心となるのは、イギリスのデザイナー、クリストファー・ドレッサーが自ら日本へ運んだ作品。これらは1873年のウィーン万国博覧会出品作品や、おみやげ品を載せて日本へ向かった船が沈没した、という悲報を聞いてヨーロッパで集められたもので、その収集にはドレッサーが深く関わっていました。なかには当時流行したジャポニスムをうかがわせる興味深いデザインもみられます。どうぞお楽しみに。(三笠景子)

脇指(刀身)は石田三成の指物と伝えられる作品。江戸時代に制作された刀装と同時に展示します

12/11 日

榎島糸肩赤威胴丸

室町時代・15世紀 秋田一季氏寄贈
兜、袖を完備した貴重な胴丸の作例で、威や金物も装飾的で華やかです



4 茶の美術

12/11 日

禾目天目

中国・建窯
南宋時代・12～13世紀
広田松繁氏寄贈
黒釉のなかに細い線が幾筋も現れた神秘的な天目茶碗



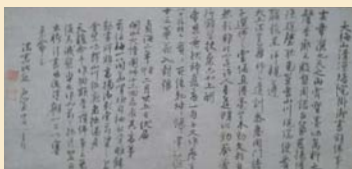
12/11 日

青磁鳳凰耳花生

中国・龍泉窯
南宋～元時代・13世紀
松永安左門氏寄贈
上質な青磁の花生は、古くから多くの茶人に愛玩されてきました



3-3 禅と水墨画 —鎌倉～室町



10/30 日

法語

石室善次筆
南北朝時代・貞治2年(1363) 松永安左門氏寄贈
天皇から下賜された額を掛ける際に法要の導師が語った言葉

11/1 火

12/11 日

文殊菩薩像

靈彩筆
龍岡真圭賛
室町時代・15世紀
線の達人、靈彩による多彩な線描のテクニックにご注目ください



(部分)

3-2 宮廷の美術 —平安～室町



(部分)

11/1 火 12/11 日

東北院職人歌合絵巻

鎌倉時代・14世紀
職人たちが自らの職業を踏まえた歌を詠み競う、職人歌合絵の最古作



(部分)

10/30 日

興風集(名家集)

伝紀貫之筆 平安時代・11世紀
森田竹華氏寄贈
飛雲の装飾が施された料紙と繊細な仮名の調和が見事です

3-1 仏教の美術 —平安～室町

11/1 火 12/11 日

法華経 方便品(竹生島経)

平安時代・11世紀
金銀泥で瑞鳥、蝶などの下絵を描き、端正で優美な法華経の名品です



12/11 日

惟賢和尚坐像

ちやうけい作
南北朝時代・応安5年(1372)
神奈川・宝戒寺蔵
生前の肖像である寿像(じゆぞう)の貴重な遺品。リアルな表情が像主の個性を伝えます



10/16 日

十六羅漢像

(第二尊者・第十四尊者)

平安時代・11世紀
日本で描かれた羅漢像のうち、現存する最も古い作品。以降の羅漢像制作に、大きな影響を与えました



(第二尊者)

10/18 火 11/13 日

伝藤原光能像

鎌倉時代・13世紀 京都・神護寺蔵
伝源頼朝像、伝平重盛像とともに神護寺に伝わる肖像画。日本肖像画の最高傑作の一つです



11/15 火 12/11 日

寛平御時后宮歌合(十巻本歌合)

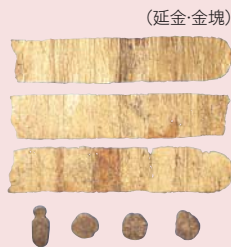
伝宗尊親王筆 平安時代・11世紀

寛平御時后宮歌合は最も早い時期の歌合のひとつで、紀貫之や素性法師など著名な歌人が名を連ねています

2017/4/23 日

興福寺鎮壇具

奈良市興福寺
中金堂須弥壇下出土
奈良時代・8世紀
興福寺建立の際、地の神を鎮めるために埋めた仏具などを展示します



(延金・金塊)

術の流れ

戸まで、
どる日本美術史



特別1室

入口

本館 1-1室

日本美術のあけぼの
—縄文・弥生・古墳

本館 1-2室

仏教の興隆
—飛鳥・奈良

本館 2室

国宝室

2

国宝室

1-1 日本美術のあけぼの —縄文・弥生・古墳

12/11 日

三角板鋳留短甲

福井県永平寺町松岡古野塚
二本松山古墳出土
古墳時代・5世紀
帯金(おびかね)式甲冑とよばれる日本列島独自のデザインと構造をもつ短甲です



壺

愛知県名古屋熱田区高蔵町出土
弥生時代(後期)・1～3世紀
徳川頼貞氏寄贈
柔らかい器形と彩色の対比がうまく調和した弥生美の典型的な作品です



1-2 仏教の興隆 —飛鳥・奈良

10/30 日

文陀竭王経

奈良時代・天平12年(740)
藤原広嗣夫人が発願した一切経の一つ。仏道を成して満足することを説いています



東洋館

アジアを旅する

東洋館
5室

「墳墓の世界」

威嚇して墓を守ります

加彩鎮墓獸

12月23日(金・祝)

三国時代の魏やこれに続く西晋は、儉約を奨励して壮麗な墳墓の造営を禁止します。しかしそれは、人々の死後の世界に対する畏怖の念や、安寧を求める心までも禁じたものではありませんでした。お墓そのものは堅牢に造られましたし、また墓を守るための置物、鎮墓獸を墓室内に据えたのはその何よりの証拠です。本作は、西晋時代の鎮墓獸の典型例。後ろ足で地を蹴り、侵入者を威嚇しています。両手で抱えられるほどの小さな置物ながら、そこには安寧を願う人々の願いが込められているのです。

(市元星)



加彩鎮墓獸

中国 西晋時代・3世紀 横河民輔氏寄贈
制作当初は角があり、全身には白を基調とする彩色を施していました

東洋館
8室

「中国文人の書斎」

重厚かつ華麗、清時代の家具

紫檀唐花蝙蝠彫椅子

10月23日(日)



紫檀唐花蝙蝠彫椅子

中国 清時代・18世紀
上海博物館蔵
清時代の家具は硬木に装飾的な彫刻を施した重厚な形式が特徴です

中国家具の最盛期は明・清時代とされています。その背景には、経済発展に伴う生活文化の充実や海外貿易による海外の材木の輸入などがありました。一言で中国家具と言っても、明時代のもものは淡雅で平明、清時代のもものは重厚で装飾的といった特徴があり、それぞれに魅力があります。東洋館8室では「中国文人の書斎」というテーマで明・清時代の文人の書斎をイメージした展示をしています。このたびは上海博物館が誇る中国家具コレクションのなかから選んで清時代の家具を展示します。深い色調の紫檀材に緻密な彫刻を施した代表的な中国家具をご覧ください。(猪熊兼樹)

東洋館
9室

「清時代の工芸」

ポップな色使いに注目

色ガラス燭台

9月27日(火) 12月23日(金・祝)

中国では清時代に、技巧を凝らしたさまざまな工芸品の生産が開花します。賢帝と名高い乾隆帝の治世に隆盛したガラスもその一つ。白濁している点に特徴があり、さらに白色の地の上に赤や青、緑、黄といった色ガラスを被せて、装飾を施す「被せガラス」の技法も目をひきます。本館14室では特集「ドレッサーの贈り物」明治にやってきた欧米のやきものとガラス(本誌7ページ)を開催しています。ヨーロッパ、アメリカ、中国の各地でつくられた近代のガラス作品をこの機会にぜひお楽しみください。(三笠景子)



色ガラス燭台

中国 清時代
乾隆年間(1736~95年)
赤、青、黄とカラフルな部品に金彩が施され、目に楽しい作品です

東洋館
10室

「朝鮮の陶磁」

金属器を写す? 土器を写す?

緑釉連弧文長頸瓶

10月25日(火) 2017年4月23日(日)



緑釉連弧文長頸瓶

伝韓国全羅南道出土
三国時代(百濟)・6~7世紀
小倉コレクション保存会寄贈
灰色の緻密な素地に、深い緑色の釉薬がかけられています

銅製の水瓶を緑釉で写した作品です。今回、百済と新羅の緑釉陶器を並べて展示します。金属器を模して作ることが多かった百済に対し、ライバルの新羅では、土器と同じ形を緑釉で焼き上げたものが見られ、緑釉陶器に対する考え方が違っていたことがうかがえます。

なお、同時期に東洋館10室の「朝鮮の磨製石器と金属器」では楽浪の緑釉陶器を、11月15日(火)からは同じく東洋館10室の「朝鮮の仏教美術」でも新羅の緑釉千鳥形磚や緑釉舍利壺を展示するので、当館が所蔵する朝鮮の緑釉をほぼすべてご覧いただくことができます。(白井克也)

法隆寺宝物館

宝物に浸る

平成館

考古で遊ぶ

●平成館 考古展示室

古墳文化にみる多様な地域性

特集「吉備・伯耆因幡の古墳文化
—中国地方東部の歴史的特質—」

11月1日(火)～2017年3月5日(日)

岡山県・鳥取県は、中国地方東部にあって中国山地を挟んで隣接し、古代には吉備・伯耆・因幡と呼ばれた瀬戸内海と日本海側に面した地方です。弥生時代以降、近畿地方以東と九州地方を結ぶ回廊として、幅広い地域と交流してきました。

特に、古墳文化の成立には、両地方の弥生時代墳丘墓で使用された貼石や特殊器台形土器が古墳の葺石・埴輪の起源となるなど、大きな影響を与えたことで知られています。

●法隆寺宝物館 第6室

左から右へ進むストーリー

重文 商山四皓・文王呂尚図屏風

10月18日(火)～11月13日(日)

聖徳太子の掌中から現れたという舍利(釈迦の遺骨)などを納めた厨子を安置する法隆寺舍利殿。本図は、その内壁の西・北・東面に、厨子を囲むように嵌まっています。展示室では向かって左から6面が、釣師の代名詞太公望(呂尚)が周の文王に軍師として迎えられる話を描いた文王呂尚図、残りの6面が秦時代末に陝西省商山に隠棲した鬚眉も真つ白な四人の隠士の話を描いた商山四皓図となります。

画中人物が皆、右方向に進んでいるのは、



部分: 釣をしている太公望(呂尚)



◎商山四皓・文王呂尚図屏風のうち
文王呂尚図屏風(第1面・第2面)
南北朝時代・14世紀

右回りに仏塔を礼拝する右繞の作法が背景にあると思われます。また、東に春、南に夏、西に秋、北に冬と、方位と季節を時計回りに対応させる、中国起源の四方四季障壁画の原則を踏まえていることなども指摘されています。中世大画面障壁画の現存まれな作例をお楽しみください。(沖松健次郎)

す。古墳時代後半期には、近畿・九州地方の影響を受けた独自の文化も現れました。

このたびは平成28年度考古相互貸借事業によって、両地方の特色ある古墳文化を岡山県立博物館、鳥取県立博物館の所蔵品を中心に紹介します。



石枕 古墳時代・4～5世紀

岡山県備前市新庄
新庄天神山古墳出土
岡山県立博物館蔵
西日本で発達した石棺に内蔵された石枕で、葬送儀礼で使用された朱が印象的



ハツ手葉形青銅製品

古墳時代・4～5世紀 鳥取県鳥取市古郡家字上ノ山 古郡家1号墳出土
鳥取県立博物館蔵
3本の半円筒形と2個の把手状突起をもつ不思議な形態の青銅製品

(古谷毅)

1000年後の未来に バトンタッチ!

保存と修理情報

37

掛軸の修理—裏打紙の除去作業

保存修復課で現在行っている修理のひとつに「柿本人麻呂像」があります。本作品には多数の横折れが生じ、弱くなった絵絹が剥落するおそれがあり、さらに、埃などの汚れで表現が見えにくいうところがありました。掛軸の場合、補強のため裏側に紙を数枚貼り重ね(裏打紙と呼びます)、絵絹を支えています。しかし、時間とともに裏打紙の接着に用いた糊の固着力は弱まり、裏打紙自身も傷んでくるため、作品を安定した状態で保管するには、定期的に裏打紙を取り替える修理が必要になってきます。

右下の写真は裏打紙を除去しているところです。修理前調査で絵絹裏面に裏彩色と呼ばれる彩色があることがわかり、その彩色を傷つけること

裏打紙を除去しているところ。右側の白い紙上の黒いものは除去した紙の繊維

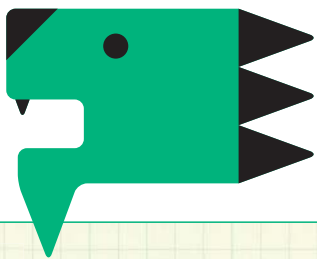


(部分)

柿本人麻呂像
室町時代・15世紀(修理前)
多数の横折れが確認できます

絵絹の裏側の拡大写真。白い糸のようにみえる裏打紙の繊維を除去していきます





みどりのライオン

みんなで楽しむ教育スペース
EDUCATION CENTER 教学中心 教育センター

教育普及事業

ART
1

知る楽しみ、学ぶ喜び

講座・講演会・ギャラリートーク

講演会

月例講演会「東博における翻訳」

日時:10月8日(土) 13:30～15:00

講師:君波妙子(国際交流室アソシエイトフェロー)

海外からのお客様に日本美術をより深く理解いただけるよう、「主役」である作品の鑑賞をサポートする翻訳(英訳)の仕事についてお話しします。

通訳有りなら、
きっとあんなね!



月例講演会「小林斗盦の篆刻の世界」

*関連展示:本誌6ページ

日時:11月19日(土) 13:30～15:00

講師:孫慰祖(上海博物館研究員)

中国における印学の第一人者・孫慰祖氏が、早くから交流のあった小林斗盦の人となり、その篆刻の魅力について語ります。逐次通訳付き。



「柔遠能邇」白文円印
小林斗盦刻
昭和58年(1983)
原印:東京・日本芸術院蔵
印影:個人蔵

*いずれも会場は平成館大講堂、定員380名(先着順)、聴講無料(ただし当日の入館料が必要)、開場は開始の30分前(予定)

ギャラリートーク

美術情報の調べ方について

日時:10月18日(火) 14:00～14:30

本館地下 みどりのライオン(教育普及スペース)

講師:住広昭子(博物館情報課情報資料室)

文化財や美術に関する情報の調べ方について、資料館所蔵の図書や写真資料を中心に、インターネット上の情報源を含めてご案内します。

はにわについて
調べるほ!



ふげん ぼさつぞう

普賢菩薩像の新図様

日時:10月25日(火) 14:00～14:30

本館地下 みどりのライオン(教育普及スペース)

講師:沖松健次郎(絵画・彫刻室主任研究員)

時代により変化をみせる普賢菩薩の図様。「禅一心をかたちに」(→本誌5ページ)にちなみ、中世になって登場する普賢菩薩像についてお話しします。

長谷川等伯筆 瀟湘八景図屏風

日時:11月1日(火) 14:00～14:30 本館7室

講師:小野真由美(貸与特別観覧室主任研究員)

瀟湘八景とは中国の洞庭湖で合流する瀟水と湘江の名勝を描いた山水図です。研ぎ澄まされた筆致で描き出す山水図の見どころをお話しします。

インドネシアのワヤン

日時:11月15日(火) 14:00～14:30 東洋館13室

講師:白井克也(考古室長)

インドネシアの伝統芸能ワヤン・クリ(影絵芝居)に登場する女性キャラクターを中心に、紹介します。



ワヤン・クリ バヌワティ
インドネシア、中部ジャワ
20世紀後半 田枝豪氏寄贈
11月15日(火)～
東洋館13室で展示

はじめてのトーハク

日時:11月18日(金) 18:30～19:00

場所:本館地下 みどりのライオン(教育普及スペース)

講師:小林牧(博物館教育課長)

トーハク初心者のみならず、本館2階「日本美術の流れ」を中心に「今日のオススメ作品」をご案内します。

かせん え

歌仙絵—王朝歌人たちのおもかげ—

*関連展示:本誌6ページ

日時:11月22日(火) 14:00～14:30

本館地下 みどりのライオン(教育普及スペース)

講師:土屋貴裕(平常展調整室主任研究員)

優れた歌人たちの姿を描いた歌仙絵。なぜこのような画題が生まれ、流行したのかを考えてみたいと思います。

ART
2

五感を使った美術体験

ワークショップ・ツアー

事前申込制 [ウェブサイトフォーム]

ファミリーワークショップ

屏風体験!

かつては部屋の中で実際に使われていた屏風。

昔の人はどのように使っていたの? 展示室ではなく部屋に置いた屏風はどう見えるの? 東京国立博物館自慢のお茶室で体験してみましょう! キヤノン株式会社と京都文化協会が推進する「縦プロジェクト」で作られた高精細複製品を使い、屏風や日本の伝統文化を身近に感じていただくワークショップです。

日時:10月22日(土) ①10:00～12:00 ②14:00～16:00

会場:本館展示室および九条館 対象:小学生～中学生およびその保護者

定員:各回10組(応募者多数の場合は抽選)

参加費:無料

(ただし、高校生を除く18歳以上70歳未満の方は当日の入館料が必要)

主催:東京国立博物館、キヤノン株式会社

申込方法:当館ウェブサイトのフォームでお申込みください

お問合せ:TEL 03-3822-1111(代) 教育普及室

申込締切:10月11日(火) 必着



ワークショップ

てんこくたいけん

篆刻体験 自分だけの印をつくらう!

*関連展示:本誌6ページ

書や絵画に、普段使うハンコとは違うデザインの印が押されているのを見たことはありますか? 実はこれは、作者のサインのひとつなんです。これを作ることを篆刻といいます。あなたの「しるし」になる特別な印を作ってみましょう。

日時:11月26日(土) ①10:30～12:00 ②14:00～15:30

会場:本館地下 みどりのライオン(教育普及スペース)

講師:岩村節彦(読売書法会常任理事、謙慎書道会常任理事)

河西様堂(読売書法会常任理事、謙慎書道会常任理事)

対象:①小学生とその保護者 ②高校生以上

定員:①10組 ②20名(応募者多数の場合は抽選)

参加費:無料

(ただし、高校生を除く18歳以上70歳未満の方は当日の入館料が必要)

協力:謙慎書道会

申込方法:当館ウェブサイトのフォームでお申込みください

お問合せ:TEL 03-3822-1111(代) 教育普及室

申込締切:①②いずれも11月10日(木) 必着



「真澄」朱文印 小林斗盦刻
平成7年(1995)
原印:個人蔵 印影:個人蔵
展示期間:11月1日(火)～
11月27日(日)

ボランティアによる事業

事前申込制 [往復はがき、ウェブサイトフォーム]

アートスタジオ

勾玉作り

平成館考古展示室にある勾玉を見学した後に、滑石を加工してオリジナルの勾玉を制作します。完成作品はお持ち帰りいただけます。

日 時：12月4日（日）13：30～15：30

会 場：本館地下 みどりのライオン（教育普及スペース）

対 象：高校生以上 定員：20名程度（応募者多数の場合は抽選）

参加費：無料

（ただし、高校生を除く18歳以上70歳未満の方は当日の入館料が必要）

申込方法：当館ウェブサイトのフォームか往復はがきでお申込みください。往復はがきの場合には、「往信用裏面」に（1）参加者全員（2名まで）の氏名・ふりがな、（2）参加者の郵便番号・住所（2名の場合は、それぞれの住所）、（3）代表者の電話番号を、また「返信用表面」に代表者の郵便番号・住所・氏名を明記のうえ、下記申込先にお送りください。

申込締切：11月7日（月） 必着

申込先：〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9

東京国立博物館ボランティア室「12月4日勾玉作り」係

お問合せ：TEL 03-3822-1111（代） ボランティア室

東博ボランティアデー 2016

12月3日（土）、4日（日）に「東博ボランティアデー」を開催します。

当館ボランティアの活動内容や活動場所をご案内する「ボランティア活動紹介ツアー」や、通常行なっている15種類のガイドツアーすべてを、この2日間で実施します。

また、12月から開始する来年度のボランティア募集にあわせて「募集説明会」も行いますので、ボランティア活動に興味をおもちの方は、ぜひご参加ください。

ボランティアデーに参加し、いつもとは違う角度から、トーハクを楽しんでみませんか？

詳細は当館ウェブサイト、「東京国立博物館ニュース12・1月号」でご案内します。

お問合せ：TEL 03-3822-1111（代） ボランティア室



昨年のボランティアデーの様子

*「東洋館シアター」とは、東洋館 TNM&TOPPAN ミュージアムシアターのことで、

*事前申込プログラムにお申し込みいただいた方には、当落に関わらずご連絡します。

実施日の3日前までに受講可否の返答がない場合は、通信トラブルの可能性もありますので、各申込先で電話でお問い合わせください。TEL:03-3822-1111（代）

*各種催し物にご応募の際に提供いただいた個人情報、当該の目的のみ使用させていただきます。終了後はすみやかに破棄します。

*インターネットからのお申込みができない方は、お電話でお問い合わせください。



独占取材！特別展ができるまで！（作品輸送編）



8月11日～8月14日 1日目～4日目 本尊を解体

開催中の特別展「平安の秘仏—滋賀・檍野寺の大観音とみほとけたち」（本誌4ページ）の注目は、なんとといっても3mを超える像高を誇る檍野寺の本尊、十一面観音菩薩坐像。重要文化財の坐像の十一面観音では日本最大という大きさの仏像を、果たしてどうやってトーハクまで運んだの？ どうやって展示室に入れたの？ ギモンの尽きない皆さまのため、トーハクくんが大観音の旅を取材してきました。



ほ！？観音さまを解体？？観音さまの腕と脚は、体とは別につくられているから、実は取りはずせるんだほ。大きな観音さまだから、お堂から安全に運び出すためにはできるだけコンパクトにすることがポイントだほ。

脚だけでもこんなに大きい！みんなて慎重に取りはずします

8月12日～8月16日 2日目～6日目 本尊の点検

解体作業と一緒に、仏像にトラブルがないか、出発前の最終チェックもするんだほ。そうしたら、台座の中から箱と札が発見されたほ！研究員さんによると「明治時代に本尊を修理した時、納めたものだよ」って。ほほー。

気になる箱の中身は後日調査によって判明。詳細は1089ブログをチェック



8月15日 5日目 いよいよお堂から搬出

パーツの取りはずしがおわったら、傷がつかないように、観音さまは布でぐるぐる巻きに。その後、頑丈な箱に納めて、旅支度は完了☆お堂から慎重に運び出していくほ。

台座と光背も取りはずし、本体をお堂の外に運び出します



8月19日 9日目 第1便が出発！

観音さまが大きいので、2便にわけて東京へ。震動を抑えたトラックにのった観音さまの本体が、第1便としてしゅっぱーつ！その6日後、台座と光背をのせた第2便も出発したほ。

この大きな箱のなかに、腕と脚を除く、本尊の本体が納められています



8月29日 19日目 会場への運び込み完了！

ついにトーハクに到着！さっそく会場に運び込むんだけど…作品がいつも通っているルートが、今回は使えなかったんだほ。なんて大きさだほ！！「会場に運び込むのが一番大変でした」と、研究員さん。このあとは、会場内で展示作業。観音さまだけで5日もかかったんだほ。



1体の仏像を運ぶのに約20日間もかかった、一大プロジェクトだったんだほ！みんなの力を結集して開催された「平安の秘仏」展、ぜひ見にきてほー。



博物館で野外シネマ

「博物館で野外シネマ」を、今年も移動映画館キノ・イグルーとの共催で行います。映画と屋台で、夜の博物館をお楽しみください。

日時:10月14日(金)・15日(土) 19:00～20:30
上映作品:秒速5センチメートル(2007) 新海誠監督
会場:本館前(雨天時は中止)

申込:事前申込不要、当日会場に集合

料金:無料(ただし当日の入館料が必要)

※当日は特別夜間開館のため22:00まで開館(入館は閉館の30分前まで)



© Makoto Shinkai / CoMix Wave Films

Music Program TOKYO まちなかコンサート～芸術の秋、音楽さんぽ～

都内の文化施設と連携した新進演奏家によるコンサート「MusicProgram TOKYO まちなかコンサート」にトークも参加します。

日時:10月29日(土) 13:00～、15:00～(各回30分) 会場:法隆寺宝物館
出演:白井葉々子(コントラバス)、山崎早登美(ピアノ(キーボード))、

澤田靖駿(コントラバス)、橋爪裕貴(コントラバス)、江口梢(コントラバス)

料金:無料(ただし、当日の入館料が必要)

主催:東京都/東京文化会館・アートカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団)

お問合せ:東京文化会館事業企画課 TEL:03-3828-2111

第13回 台東区の伝統工芸職人展

東京国立博物館のある台東区は、江戸文化が栄えた町として知られています。会場では、様々な分野の職人による製作実演を行います。

日時:11月15日(火)～20日(日) 9:30～17:00

会場:平成館ラウンジ 料金:総合文化展観覧料でご覧いただけます

主催:台東区 共催:東京国立博物館

協力:台東区伝統工芸振興会・台東伝統文化振興会

お問合せ:台東区役所文化産業観光部産業振興課 TEL:03-5246-1131

休館・閉室情報

下記の展示館を一時閉室・休館しています。

東洋館8室:10月24日(月)～10月31日(月)[展示環境整備のため]

表慶館:当面の間(特別展・イベント開催時を除く)[展示環境整備のため]

10月8日(土)は留学生の日です

日本の学校に所属する留学生、ALT(外国語指導助手)および、その同行者は総合文化展が無料となります。入館の際には学生証をご提示ください。

〈イベントスケジュール〉

●「日本美術の流れ」英語ガイド 時間:11:00～12:00、15:00～16:00

本館2階の各所で、ボランティアが英語で作品紹介を行います。

●各種ガイドツアー

やさしい日本語で行います。詳細はウェブサイトをご覧ください。

●留学生のためのお茶会(応挙館) 時間:①11:00～12:00 ②13:00～14:00

定員:各回15名

参加方法:①②とも9:30より本館前受付にて整理券配布

参加費:500円

●留学生のための「気軽にお茶体験」(九条館) 時間:11:00～13:00、14:00～16:00

定員:先着200名(入替制、1人あたり10～15分程度)

参加方法:会場で直接受付 参加費:300円

秋の庭園開放

本館北側の庭園を期間限定で開放します。庭園に点在する茶室もご覧いただけます(茶室内部は非公開)。

日時:10月25日(火)～12月4日(日) 10:00～16:00

庭園入口:レストランゆりの木脇、または平成館と本館の間

料金:入館料のみでいただけます

※お茶室貸出利用時はお茶室を間近でご覧いただけません場合があります。

※悪天候により中止になる場合があります。庭園開放中止の場合は、正門の掲示にてお知らせします。



東京国立博物館賛助会員募集のご案内

東京国立博物館では賛助会制度を設け、当館の活動を幅広くご支援いただいております。賛助会員よりいただいた会費は、文化財の購入・修理、調査研究・総合文化展・施設整備等の充実にあてております。どうか賛助会の趣旨にご理解ご賛同をいただき、ご入会くださいますようお願い申し上げます。

入会日より1年(入会月の翌年同月末日まで)有効。

◎年会費

〈団体〉プレミアム会員 1,000万円以上

特別会員 100万円(1口)

維持会員 20万円

〈個人〉プレミアム会員 100万円以上

特別会員 20万円/維持会員 5万円

◎主な特典

- 特別展の内覧会にご招待
- 東京国立博物館ニュースの送付

◎申込方法

当館窓口のほか、当館ウェブサイト(クレジットカード決済)、銀行振込で随時受け付けています。

◎お問合せ

東京国立博物館総務部 賛助会担当
電話 03-3822-1111(代)

東京国立博物館賛助会員 2016年9月9日現在

特別会員 団体

日本電設工業株式会社 様
株式会社 コア 様
大日本印刷株式会社 様
毎日新聞社 様
株式会社 大林組 様
朝日新聞社 様
株式会社 ホテルオークラエンタープライズ 様
株式会社 ミロク情報サービス 様
読売新聞社 様
三菱商事株式会社 様

維持会員 団体

株式会社 三冷社 様
株式会社 東京美術 様
日本通運株式会社 美術品事業部 様
株式会社 安井建築設計事務所 様
株式会社 ナガホリ 様
松本建設株式会社 様
株式会社 古美術数本 様
謙慎書道会 様
近代書道研究所 様
日本畜産興業株式会社 様
株式会社 東京書芸館 様

株式会社 グラスバウハー・ジャパン 様
株式会社 デュナミス 様
キョコマン株式会社 様
公益社団法人 創玄書道会 様
朝陽書道会 様
一般社団法人 書芸文化院 様
株式会社 精養軒 様
株式会社 都市環境企画 様
全日本空輸株式会社 様
株式会社 清光社 様
有限会社 アトリエ・エビス 様

個人

プレミアム会員	樹田 良豊 様	川澄 祐勝 様	高見 康雄 様	相良 多恵子 様	榎本 享世 様	横田 隆義 様	福武 正廣 様	角田 保行 様	水田 渉子 様	北爪 由紀夫 様	荒井 淳子 様
	岩間 良孝 様	長谷川 英樹 様	神通 豊 様	鈴木 徹 様	岡田 良雄 様	新保 幸男 様	竹内 和世 様	三浦 基広 様	吉原 剛一 様	大塚 匠子 様	伊藤 建次郎 様
	池田 孝一 様	神通 豊一 様	三井 達雄 様	今里 美幸 様	阿部 和加子 様	中野 俊介 様	岡野 一昭 様	金光 真佐一 様	重田 鏡子 様	伊藤 隆 様	宮森 景子 様
特別会員	木村 剛 様	永久 幸範 様	坂詰 貴司 様	櫻井 恵 様	節田 久子 様	井出 宗則 様	伊藤 彰信 様	田辺 修一 様	五嶋 滋之 様	茂木 一郎 様	金光 秀行 様
	辻 泰二 様	観世 あすか 様	石川 公子 様	加藤 孝明 様	井茂 圭子 様	土屋 和彦 様	小林 浩和 様	福代 咲山 様	笹川 統 様	岡藤 寛幸 様	田原 喬子 様
	谷川 紀彦 様	星望 由尚 様	永田 美香 様	伊佐 健二 様	高味 良信 様	難田 栄一 様	加藤 正毅 様	竹内 明世 様	山見 勝彦 様	大山 仁 様	小田 周平 様
	佐久間 基晴 様	渡辺 章 様	西岡 康宏 様	篠田 喜弘 様	軽部 由香 様	加納 幸人 様	蔵口 真理 様	平田 恭之 様	若佐 恵子 様	安齋 未来 様	田島 ヨシ江 様
	田中 将介 様	稲垣 哲行 様	友景 紀子 様	片山 正紀 様	木越 純 様	林 和人 様	宮下 雅博 様	武井 伸之 様	杉浦 礼子 様	庄司 浩 様	三宮 信秀 様
	飯岡 雄一 様	東野 治之 様	伊藤 喜雄 様	井上 保 様	笹森 美子 様	清水 透石 様	川上 宗雪 様	羽石 史生 様	向山 裕子 様	白坂 智恵子 様	小森 義記 様
維持会員	高瀬 正樹 様	竹下 佳宏 様	井上 雄吉 様	田中 信 様	高橋 明子 様	野本 陽代 様	田代 雅彦 様	長瀬 正行 様	上島 啓祿 様	大貫 健司 様	那須野 さや佳 様
	伊藤 信彦 様	坂井 俊彦 様	松原 聡 様	岡 靖子 様	村井 明美 様	佐藤 美香 様	昆 政彦 様	前田 青子 様	田中 真知子 様	高田 明典 様	
	数内 匡人 様	寺浦 信之 様	野澤 子 様	古川 晴紀 様	小塚 泰博 様	青山 慶示 様	中村 伸夫 様	笠原 勉 様	高田 明典 様	小野 透 様	
	服部 悦子 様	高木 美華子 様	坂田 浩一 様	菊地 昌之 様	西 八郎 様	谷口 英一 様	高橋 薫 様	高木 敏司 様	小野 透 様	竹中 洋子 様	
	高田 明子 様	古屋 光夫 様	池谷 正夫 様	岩本 光雄 様	星 義久 様	樋口 順一 様	清田 志郎 様	小川 恭子 様	岩本 みち子 様	長井 真理 様	
	齋藤 京子 様	根田 穂美子 様	秦 芳彦 様	山本 隆幸 様	田中 節山 様	吉永 喜代子 様	宮川 寛子 様	田中 三伊 様	脇 素一郎 様	森本 文子 様	
	齋藤 邦裕 様	松本 澄子 様	木谷 弘巳郎 様	鈴木 春朝 様	田中 翠己 様	長嶋 益子 様	佐野 淑子 様	黒河 英俊 様	本條 陽子 様	山神 英司 様	
	和田 喜美子 様	是常 博 様	高梨 兵衛門 様	山ノ上 知子 様	山中 翠己 様	富山 仁美 様	中村 光宏 様	岩本 みち子 様	山神 英司 様	長井 真理 様	
	佐々木 芳絵 様	上野 孝一 様	渡久地 ツル子 様	名取 幸二 様	関 竜章 様	鶴 晃秀 様	菅野 良子 様	堀川 佳津美 様	長井 真理 様	森本 文子 様	
	藤原 紀男 様	北山 喜立 様	汐崎 浩正 様	増淵 信義 様	岡田 大志 様	高山 真行 様	中島 米治郎 様	瀧本 萬 様	森本 文子 様	井田 悦郎 様	
	中川 俊光 様	山田 泰子 様	平井 千恵子 様	要 英範 様	柳村 衛 様	渡辺 婦美 様	田中 久丸 様	秋元 幸雄 様	田頭 敦子 様	横田 泰三 様	
	関谷 徳衛 様	柴田 隆子 様	青山 道夫 様	安田 格 様	柳澤 剛志 様	鈴木 深泉 様	神田 靖男 様	中山 安弘 様	青木 勝重 様	和田 文彦 様	
	高橋 守 様	網村 安代 様	高橋 静雄 様	山ノ上 玲 様	小日向 志乃 様	今村 正 様	森本 晃生 様	鈴木 健之 様	牧 裕子 様	加田 知佳乃 様	
	小澤 桂一 様	臼井 生三 様	田中 千秋 様	会田 健一 様	松前 達郎 様	李 雲莉 様	石飛 博光 様	野田 和佳子 様	南 佳菜子 様	北山 卓 様	
	上久保 のり子 様	津久井 秀郎 様	小西 時也 様	桐畑 政義 様	栗山 哲夫 様	供田 扶美 様	清原 真里 様	木村 則子 様	沖 斗南 様	眞鍋 敏子 様	

TNM & TOPPAN ミュージアムシアター

○VR作品 金碧障壁面を巡るVRツアー

『安土城から檜図、そして二条城へ』

9月28日(水)～12月23日(金・祝)

新しい世の理想を掲げた織田信長による安土城城主、狩野永徳の傑作「檜図屏風」、江戸幕府を磐石なものとした徳川家光による二条城二の丸御殿。狩野派の金碧障壁面を切り口としたVRによる歴史ツアー仕立てで、この3つの見どころをご案内します。

料金:一般・大学生・高校生:500円、小学生・中学生:300円、未就学児、障がい者及び同伴者1名:無料(1作品/1回あたり)

*総合文化展とセット購入で一般:1,000円/大学生800円

*所要時間は約40分です。鑑賞には当日の予約が必要です。

*演目・スケジュールは都合により変更になる場合があります。

*詳細はウェブサイトをご覧ください。URL <http://www.toppa-vr.jp/mt/>



●檜図屏風(右隻部分、当館での展示予定はありません)



特別展「春日大社 千年の至宝」チケットプレゼント またはトーハクくんから年賀状が届きます

特別展「春日大社 千年の至宝」(2017年1月17日(火)～3月12日(日))本誌5ページの無料観覧券(10組20名様)をプレゼント。または2017年のお正月にトーハクくんから年賀状(10名様)が届きます。応募締切は2016年11月28日(月)必着。

*プレゼントの応募方法

はがきに郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、性別、年齢、ご希望のプレゼント(チケットまたは年賀状)、ならびにこの号で一番おもしろかったページをご記入のうえ、下記までお送りください。発表は発送をもって替えさせていただきます。

〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9

東京国立博物館 広報室「ニュース10・11月号」プレゼント係



「創エネ・あかりパーク®2016」開催に伴う特別夜間開館

光の祭典「創エネ・あかりパーク®2016」が、今年も上野公園を会場に開催されます。

当館でも夜間開館し、本館へのスペシャルライトアップを実施します。

日時:11月3日(木・祝)～11月5日(土) 20:00まで開館(入館は19:30まで)

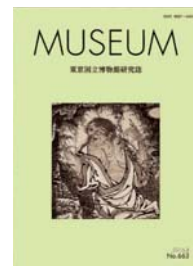
主催:「創エネ・あかりパーク2016」実行委員会

『MUSEUM』663号(2016年8月15日発行)の掲載論文

- ①「安堅筆「夢遊桃源図」に見られる洞のトボス」
呉永三(京都精華大学非常勤講師)
- ②「MOA美術館蔵「機織図」—そのモチーフと主題をめぐって—」
館野まりみ(早稲田大学大学院)
- ③「曾我蕭白のふたつの寒山拾得図—主題およびその文化的背景の検討を中心に—」
ミウオシユ・ヴォズニ(当館国際交流室アソシエイトフェロー)

お問合せ:当館ミュージアムショップまたは

中央公論事業出版(電話:03-5244-5723) 定価:1,543円(税込)



ボランティア募集のお知らせ

平成29年度 東京国立博物館ボランティア募集

当館では、博物館を安心して楽しんでいただけるよう、ボランティアが活躍しています。館内での来館者対応を中心に、イベントなどの補助や、さまざまなガイドツアーも行っています。今回、平成29年4月から3年間の任期のボランティアを約50名募集します。「東博ボランティアデー」(12月3・4日)では、募集説明会を行いますので、お気軽にご参加ください(当日の入館料が必要です)。応募受付は、12月12日(月)～2017年1月12日(木)です。あなたもトーハクでボランティアをしてみませんか? 詳細は、10月下旬頃当館ウェブサイトでご案内します。

お問合せ TEL:03-3822-1111(代) ボランティア室

東京国立博物館利用案内

開館時間:

9:30～17:00(入館は閉館の30分前まで)

開館時間を一部変更しました。2016年9月から、総合文化展は金・土曜日は20時まで開館します。

- 12月までの金曜日と10月22日(土)は特別展も20:00まで開館
- 10月8日(土)は17:00まで、10月22日(土)は法隆寺宝物館のみ17:00まで
- 10月14日(金)・15日(土)は全館22:00まで
- 11月3日(木・祝)は全館20:00まで
- いずれの場合も黒田記念館は17:00まで

休館日:

月曜日(祝日・休日にあたる場合は開館、翌平日休館)

- 2016年の年末は12月23日(金・祝)まで開館、2017年は1月2日(月・休)から開館

*特別展等の開催に伴い、開館時間及び休館日は変更になることがあります。

総合文化展観覧料金:

一般=620(520)円 大学生=410(310)円

- ()内は20名以上の団体料金
- 障がい者とその介護者1名は無料。満70歳以上、高校生以下および18歳未満の方は無料

最新情報は、ウェブサイト、Facebook、Twitter、メールマガジンで!
東京国立博物館ウェブサイト
<http://www.tnm.jp/>

*各種イベントのお申込に際してご提供いただいた個人情報、当該目的にのみ使用させていただきます。
当館は個人情報に関する法令を遵守し、適正な管理・利用と保障に万全を尽くします。

東京国立博物館ニュースの定期購読

年間(6冊分)を1,000円の送料・事務費でご自宅にお届けします。パスポート・ベーシックと同時申し込みで100円割引(会員期間と同一期間の購読に限る)。

*次号よりご送付希望の場合、締切は11月10日(木)です。

東京国立博物館友の会&パスポート

友の会	発行日から1年間有効
年会費	10,300円

*継続入会(パスポート・ベーシックを含む)の場合は9,800円

【特典】東京・京都・奈良・九州国立博物館の総合文化展・平常展を何度でも観覧可能。特別展観覧券(12枚)の配布、そのほか本誌の定期郵送など様々な特典があります。

パスポート	発行日から1年間有効
一般	4,100円
29歳以下	3,000円
学生	2,500円

【特典】東京・京都・奈良・九州国立博物館の総合文化展・平常展を何度でも、特別展は1回ずつ計6回まで観覧可能です。

ベーシック	発行日から1年間有効
一般	1,500円
29歳以下	1,100円
学生	900円

【特典】東京国立博物館の総合文化展を何度でも観覧できます。

◎お問合せ

電話 03-3822-1111(代)友の会・パスポート担当

FAX 03-3821-9680

▶各種お申込みは当館窓口・ウェブサイトまたは郵便振替で

【ウェブサイト】

申込フォームよりお申し込みください。クレジットカードによる電子決済をご利用いただけます。

【郵便振替でのお申込】

- 振替用紙に郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号・職業・年齢・性別・メールアドレスを楷書でご記入ください。
- 振替用紙の半券が領収書になります。有効期間終了まで保管しておいてください。
- 振替手数料はお客様負担となります。
- ご入金確認日より会員証等がお手元に届くまで2週間程度かかります。

友の会

加入者名(振替先)東京国立博物館友の会
口座番号 00160-6-406616

- 振替用紙には申込区分(新規・継続)を記入し、[継続]の方は、有効期限内の会員証等のコピーを郵送またはFAXでお送りください。

東京国立博物館ニュースの定期購読&パスポート・ベーシック

加入者名(振替先)東京国立博物館パスポート&ニュース
口座番号 00140-1-668060

- パスポート・ベーシックの申し込みの場合、振替用紙に申込区分([パスポート・ベーシック][一般・29歳以下・学生])を記入し、[29歳以下]・[学生]の方は、年齢のわかる身分証明証のコピーを郵送またはFAXでお送りください。

*一度納められた料金の払戻はいたしません。

1 土	夜間開館(20:00まで、総合文化展のみ) 特別展「平安の秘仏—滋賀・横野寺の大観音とみほとけたち」 アジアンぬりえ 11:00～16:00 伝統衣装 12:00～17:00 13:30 本 14:00 「博物館でアジアの旅」
2 日	アジアンぬりえ 11:00～16:00 伝統衣装 12:00～17:00 東 11:00 作 13:30*1 考 14:30
3 月	休館日
4 火	スペシャルツアー「中国空想動物園」14:00 イブニングトーク「壇蜜さんと楽しむ中国美術の旅」19:00 東洋館シアター*1 伝統衣装 12:00～17:00 建 11:00
5 水	スペシャルツアー「中国家具をめぐる旅」11:00 「博物館ではじめての太極拳」19:30 東洋館1室*1 伝統衣装 12:00～17:00
6 木	スペシャルツアー「幸せの形—吉祥エピソード—」14:00 夜YOGA 19:30 東洋館1室*1 アジアンぬりえ 11:00～16:00 伝統衣装 12:00～17:00 東 11:00
7 金	夜間開館(20:00まで) 法 15:00 伝統衣装 12:00～17:00
8 土	留学生の日 トーハクくん誕生日 東博における翻訳 13:30 平成館大講堂 剪紙体験 13:00*1 伝統衣装 12:00～17:00 ナイトミュージアム 17:00*1 陶 14:30
9 日	ユリノキちゃん誕生日 伝統衣装 12:00～17:00 剪紙体験 13:00*1 近 13:00 浮 14:00 彫 15:00 古箏と馬頭琴の演奏 13:30、15:00 東洋館1室
10 月・祝	伝統衣装 12:00～17:00 中国伝統芸術ショー(雑技) 13:30、15:00 東洋館前
11 火	休館日
12 水	
13 木	庭 14:00
14 金	特別夜間開館(22:00まで) 英 14:00 博物館で野外シネマ 19:00
15 土	特別夜間開館(22:00まで) 秘仏講 滋賀・横野寺の仏像をめぐる 13:30 平成館大講堂*1 建 11:00 本 14:00 法 15:00 博物館で野外シネマ 19:00
16 日	東 11:00 英 11:00 茶 12:30、14:00 浮 14:00 考 14:30
17 月	休館日
18 火	G「美術情報の調べ方について」14:00 特別展「禅—心をかたち—to」 本館地下教育普及スペース
19 水	【禅】禅トーク 11:00、14:00 平成館ラウンジ 【禅】写禅語 12:00、15:00 平成館ガイダンスルーム
20 木	彫 15:00
21 金	夜間開館(20:00まで) 連続講座「仏像三昧」13:00 平成館大講堂*1 樹 13:30
22 土	夜間開館(20:00まで、法隆寺宝物館は17:00まで) 連続講座「仏像三昧」 13:00 平成館大講堂*1 W「屏風体験!」10:00、14:00 刀 13:30
23 日	連続講座「仏像三昧」13:00 平成館大講堂*1 法 13:00 浮 14:00 彫 15:00
24 月	休館日
25 火	G「普賢菩薩像の新図様」14:00 秋の庭園開放 本館地下教育普及スペース
26 水	建 11:00
27 木	本 14:00
28 金	夜間開館(20:00まで) 【禅】禅トーク 11:00、14:00、18:30 平成館ラウンジ 【禅】写禅語 12:00、15:00 平成館ガイダンスルーム
29 土	夜間開館(20:00まで、総合文化展のみ) 【禅】講「禅の美術」13:30 平成館大講堂*1 まちなかコンサート 13:00、15:00 法隆寺宝物館*5
30 日	
31 月	休館日

【禅】＝「禅—心をかたち—to」関連事業。詳細は本誌5ページ

1 火	G「長谷川等伯筆 瀟湘八景図屏風」14:00 本館7室 建 11:00
2 水	
3 木・祝	夜間開館(20:00まで) 創エネ・あかりパーク®2016 【禅】トークイベント「雪舟 vs 白隠 達磨図に迫る」13:30 平成館大講堂*2 【禅】写禅語 11:00、18:30 平成館ガイダンスルーム 陶 11:00
4 金	夜間開館(20:00まで) 法 15:00
5 土	夜間開館(20:00まで) 【禅】尺八コンサート 13:30 平成館大講堂 【禅】禅トーク 11:00、18:30 平成館ラウンジ 【禅】写禅語 12:00、15:00 平成館ガイダンスルーム 樹 13:30 本 14:00
6 日	作 13:30*3 考 14:30
7 月	休館日
8 火	
9 水	【禅】禅トーク 11:00、14:00 平成館ラウンジ 【禅】写禅語 12:00、15:00 平成館ガイダンスルーム
10 木	庭 14:00
11 金	夜間開館(20:00まで) 英 14:00
12 土	夜間開館(20:00まで、総合文化展のみ) 【禅】「禅寺の四ツ頭茶礼」13:30 平成館大講堂*4 陶 14:30
13 日	近 13:00 浮 14:00 彫 15:00
14 月	休館日
15 火	G「インドネシアのワヤン」14:00 台東区の伝統工芸職人展 東洋館13室
16 水	
17 木	彫 15:00
18 金	夜間開館(20:00まで) 樹 13:30 G「はじめてのトーハク」 18:30 本館地下教育普及スペース
19 土	夜間開館(20:00まで、総合文化展のみ) 講「小林斗盞の篆刻の世界」 13:30 平成館大講堂 建 11:00(手話通訳付) 本 14:00 法 15:00
20 日	東 11:00 英 11:00 茶 12:30、14:00 浮 14:00 考 14:30
21 月	休館日
22 火	G「歌仙絵—王朝歌人たちのおもかげ—」14:00 本館地下教育普及スペース
23 水・祝	建 11:00
24 木	【禅】禅トーク 11:00、14:00 平成館ラウンジ 【禅】写禅語 12:00、15:00 平成館ガイダンスルーム 本 14:00
25 金	夜間開館(20:00まで)
26 土	夜間開館(20:00まで、総合文化展のみ) W「篆刻体験」10:30、14:00 刀 13:30
27 日	法 13:00 浮 14:00 彫 15:00
28 月	休館日
29 火	
30 水	(12/4まで)(12/11まで)

G＝「博物館でアジアの旅」関連事業。詳細は本誌3ページ

*1 事前申込制。申込は締め切りました *2 有料イベント。詳細は当館ウェブサイトをご覧ください

*3 事前申込制。詳細は本誌前号12ページ *4 事前申込制。詳細は本誌5ページ

*5 詳細は本誌14ページ

講＝月例講演会等。詳細は本誌12ページ

G＝ギャラリートーク。詳細は本誌12ページ

W＝ワークショップ、ファミリーワークショップ。詳細は本誌12ページ

※＝託児サービス実施日(12:30～15:30) 事前予約制 有料

作＝ボランティアによるアートスタジオ 事前申込制

本＝ボランティアによる本館ハイライトツアー、集合場所：本館1階エントランス

浮＝ボランティアによる浮世絵ガイド、集合場所：本館1階エントランス

陶＝ボランティアによる陶磁ガイド、集合場所：本館1階エントランス

彫＝ボランティアによる彫刻ガイド、集合場所：本館1階エントランス

樹＝ボランティアによる樹木ツアー、集合場所：本館1階エントランス

考＝ボランティアによる考古展示室ガイド、集合場所：平成館考古展示室

英＝ボランティアによる英語ガイド(日本美術の流れ)、集合場所：本館1階エントランス

茶＝ボランティアによる応挙館での茶会、集合場所：本館1階エントランス(参加費500円、先着15名、開始30分前に集合場所で整理券配布)

庭＝ボランティアによる庭園茶室ツアー、集合場所：本館1階エントランス(先着18名、開始30分前に集合場所で整理券配布)

建＝ボランティアによるたてもの散歩ツアー、集合場所：本館1階エントランス

近＝ボランティアによる近代の美術ガイド、集合場所：本館1階エントランス

刀＝ボランティアによる刀剣・武士の装いツアー、集合場所：本館1階エントランス

東＝ボランティアによる東洋館ツアー、集合場所：東洋館1階エントランス(10月は「仏像の旅」、10月2日・6日は特別バージョン、11月は「東洋館ハイライト」をご案内します)

法＝ボランティアによる法隆寺宝物館ガイド、集合場所：法隆寺宝物館1階エントランス

※屋外で実施するツアー・ガイドは雨天の場合中止することがあります。